



WORKWITHPLUS
FOR WEB

リリースノート

バージョン:	15
更新日:	2022 年 6 月 3 日
互換性:	GeneXus 17 Upgrade 9 以降



概要

WorkWithPlus コンポーネント	3
テンプレートの改善	5
新しいテンプレートセレクトター	5
テンプレートのインスタンス化	6
実行時のデザインの設定	7
GAM アクセス許可の接頭語	8
Design System オブジェクト	9
キャンバス	11
Extended Suggest	12
プレーン項目属性および変数のタグ	12
マルチテナントアプリケーションの管理者ビュー	13
アイコン フォント セレクトター	15
Extended Combo の無限スクロール	15
全文検索フィルタのカスタマイズ	15
[Condition Casing]	15
[Default operator]	16
[Condition]	16
SDT の複数のレベルのサポート	17
FreeStyleGrid の改善	18
FreeStyleGrid の複数のレイアウト	18
FreeStyleGrid の既定のアクション	18
Chromium のプレビュー	19



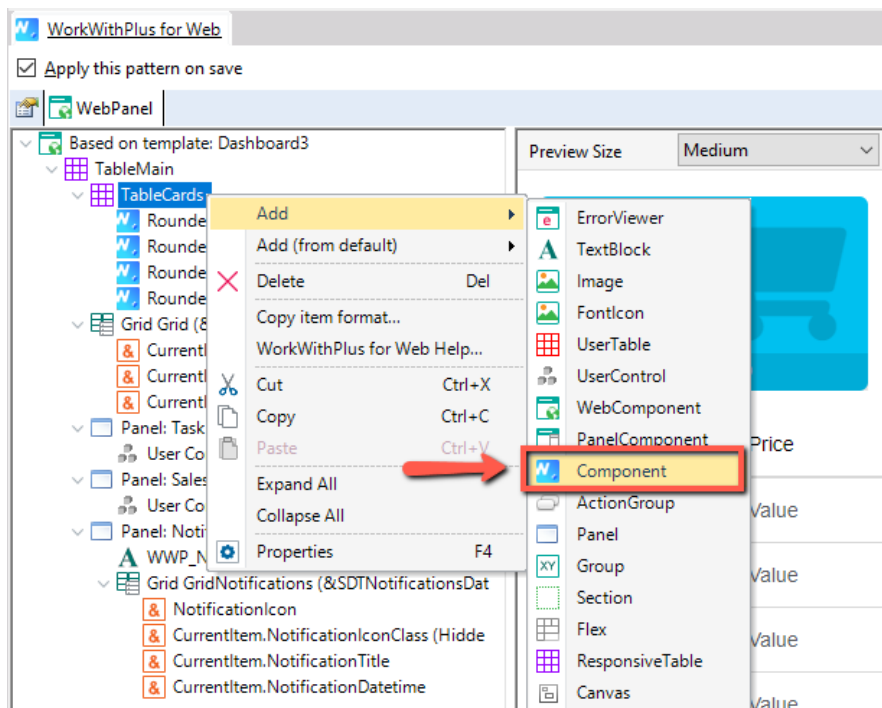
WorkWithPlus 15

新機能

WorkWithPlus コンポーネント

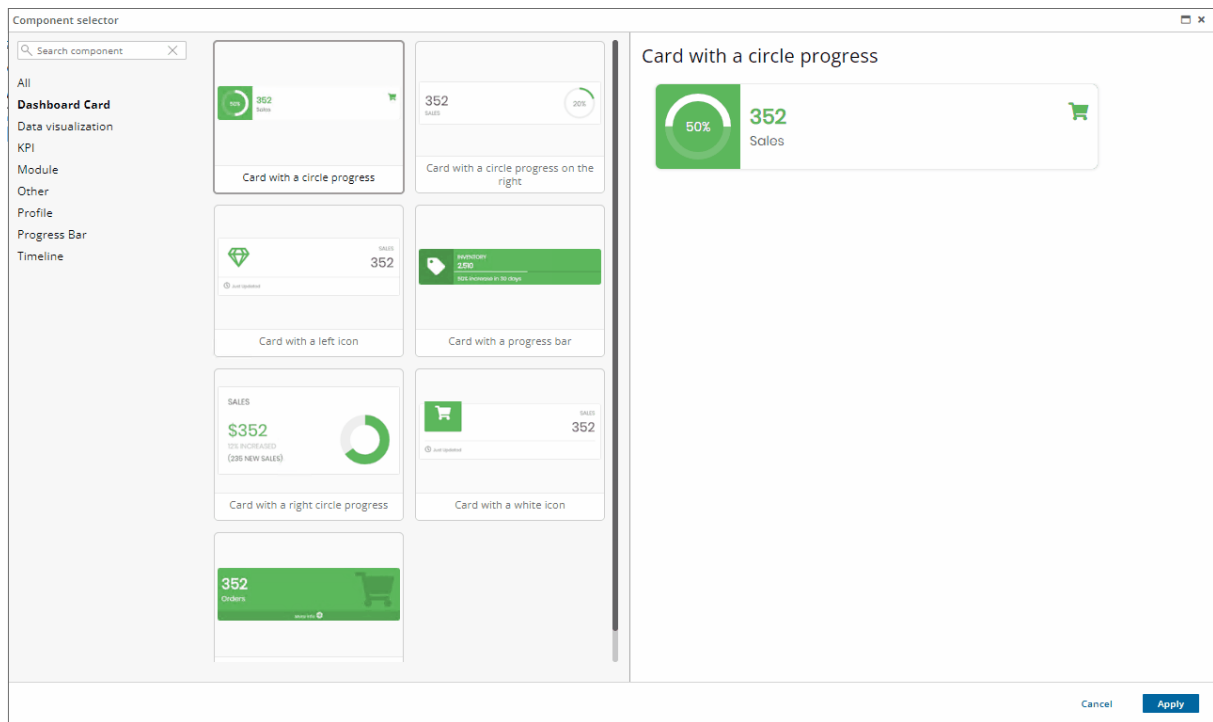
優れたユーザーエクスペリエンスでアプリケーションを開発できるように WorkWithPlus に用意されているすべてのエレメントを利用するには、それらを再使用して、日々の作業を簡素化します。WorkWithPlus for Web 15 には、コンポーネントという名前の新しいエレメントが組み込まれています。これらのコンポーネントは、ビジュアルパーツ（インスタンスの一部）で構成されていて、イベントブロックと定義済みの変数を関連付けることもできます。

使い方は非常に単純で、コンテナを右クリックして [追加] -> [Component] を選択するだけです。

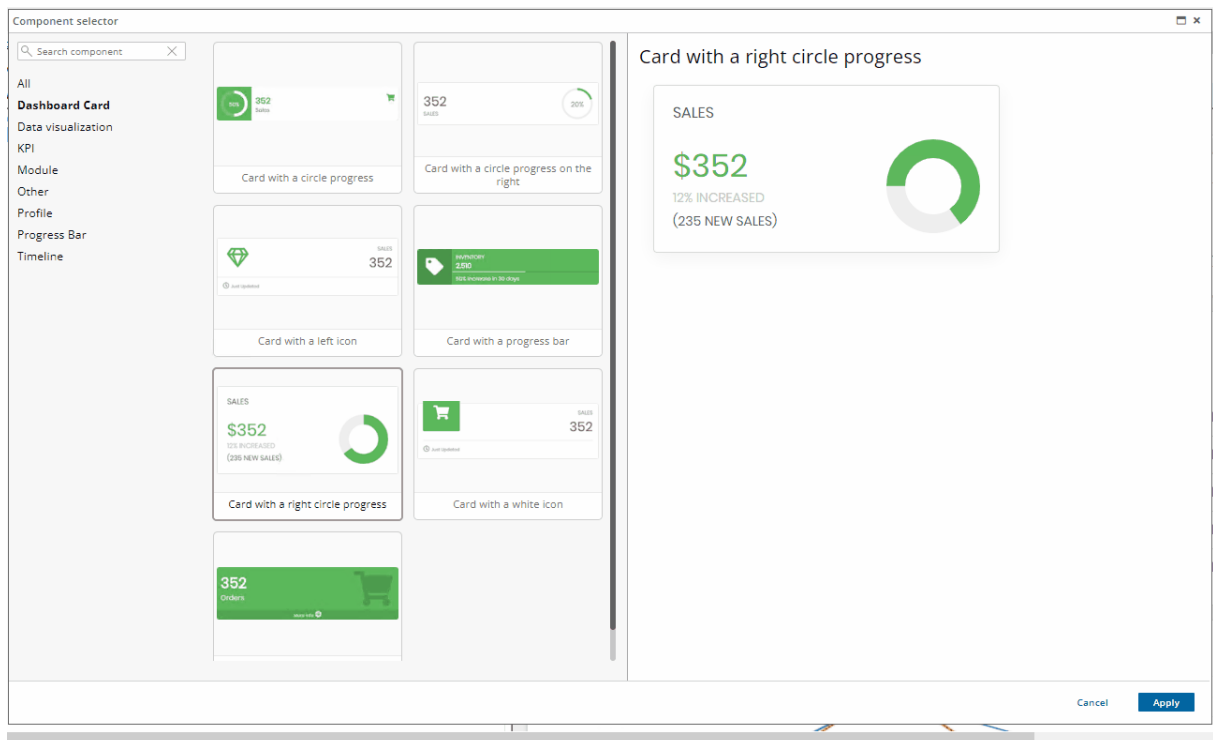




コンポーネントセレクトが開きます。



各コンポーネントには独自のバリエーションとカスタマイズがあるため、追加するコンポーネントを選択した後、コンポーネントをカスタマイズします。





また、コンポーネントに用意されていないカスタマイズを行う場合は、コンポーネント定義を変更するか、作業中の Web パネルでカスタマイズすることができます。

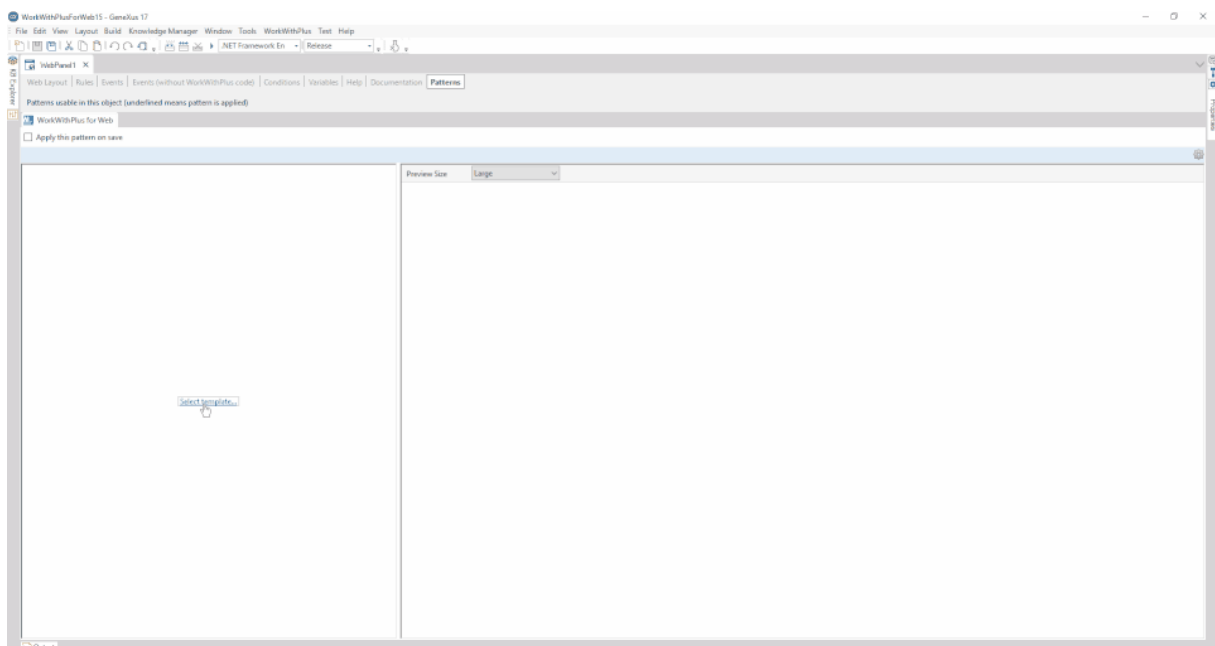
WorkWithPlus for Web には、コンポーネント間の 50 を超えるバリエーションと、そのカスタマイズが含まれています。また、独自のコンポーネントを作成して、KB 全体で 사용할 こともできます。

テンプレートの改善

新しいテンプレートセレクター

WorkWithPlus for Web 15 ではテンプレートの選択が改善され、テンプレートを選択する前にサムネイルでプレビューできるようになったため、テンプレートをより簡単かつ直観的に選択できるようになりました。

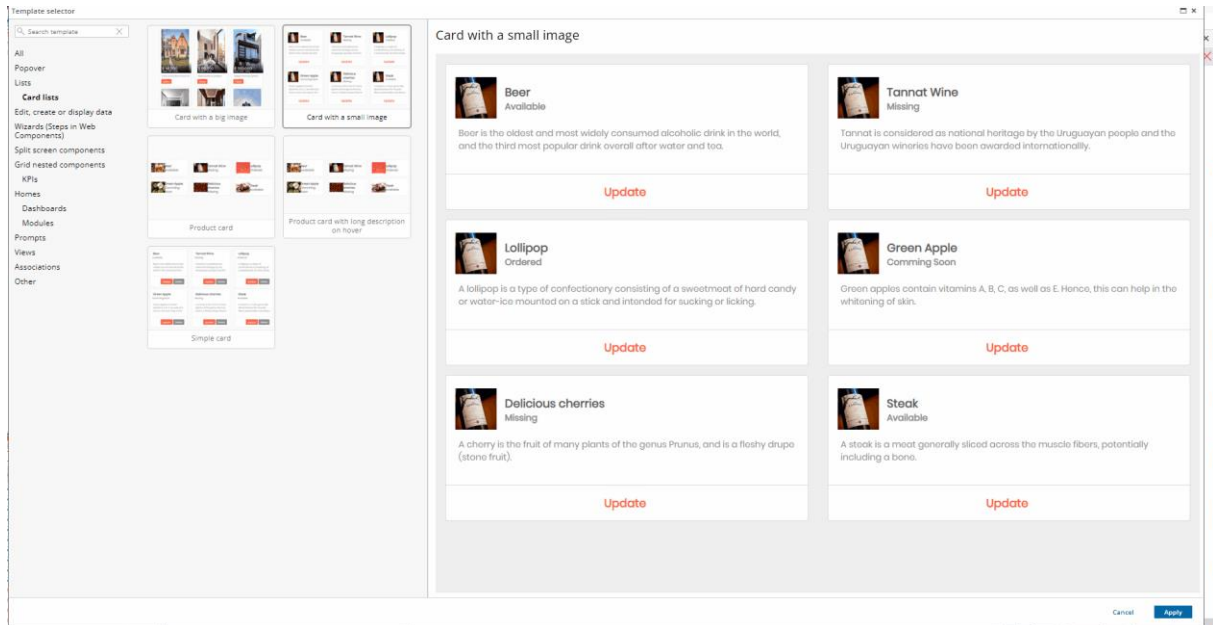
また、名前で検索できる検索フィールドと、クリックしてサムネイルをフィルタリングできる階層ツリーも含まれています。



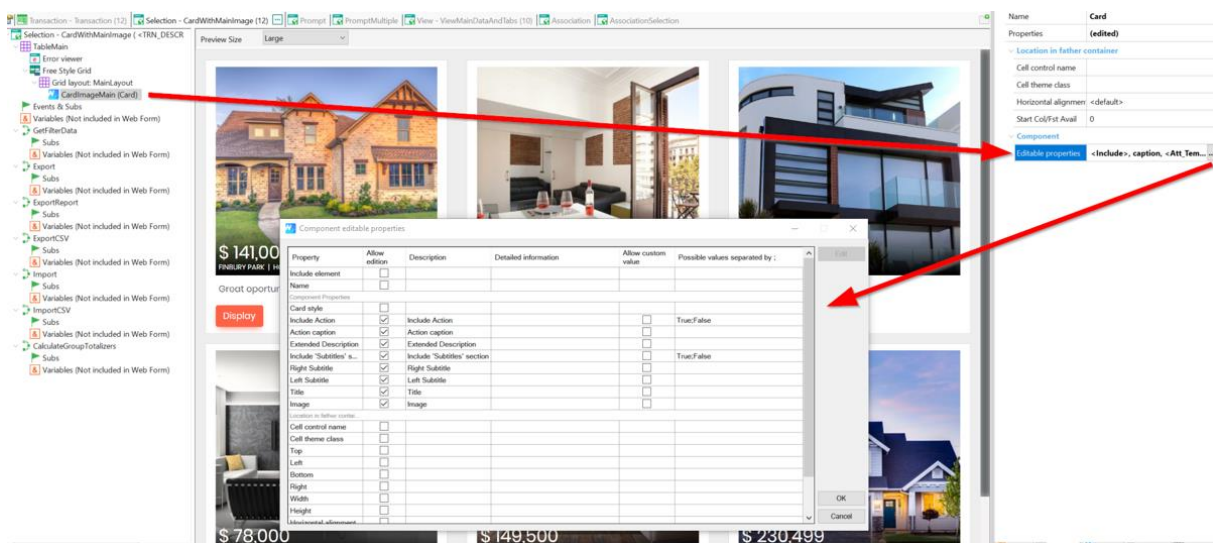


テンプレートのインスタンス化

WorkWithPlus for Web 15 には、テンプレートを選択した後に、開発者が簡単にテンプレートをインスタンス化できる新しいステップが含まれています。



このステップでカスタマイズするプロパティは、選択したテンプレートによって異なります。テンプレートの各ノードには、[Editable properties] という名前のプロパティがあります。このプロパティには、ノードのすべてのプロパティが含まれているため、テンプレートを選択するときにカスタマイズできるプロパティを確認し、使用できる値を設定することができます。

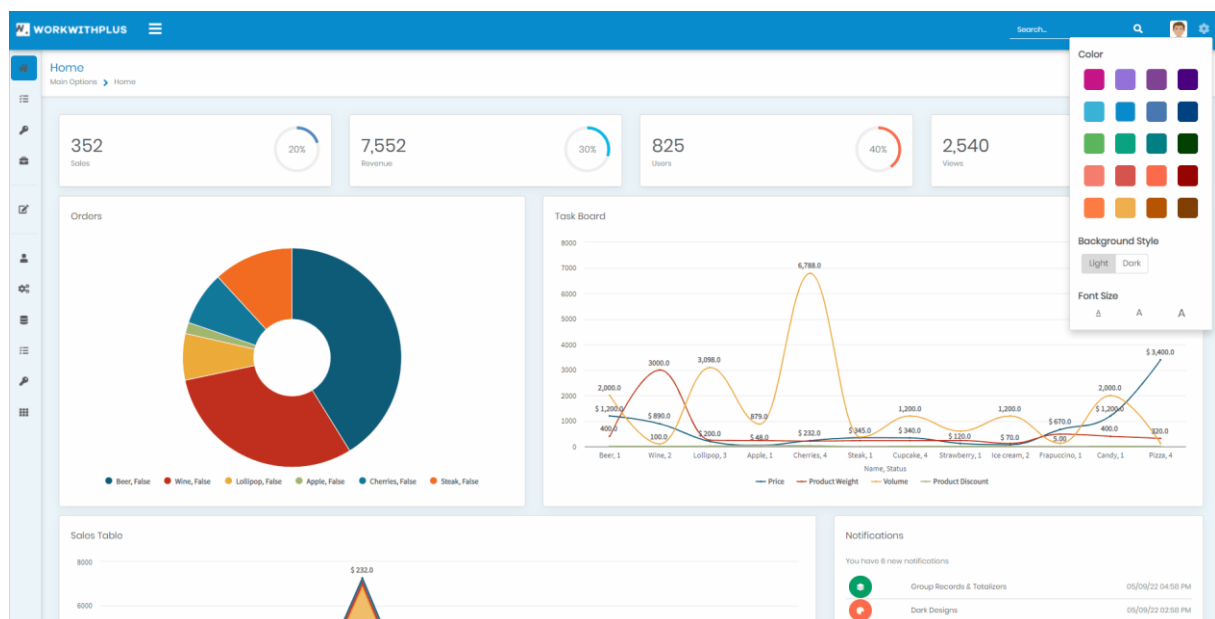




実行時のデザインの設定

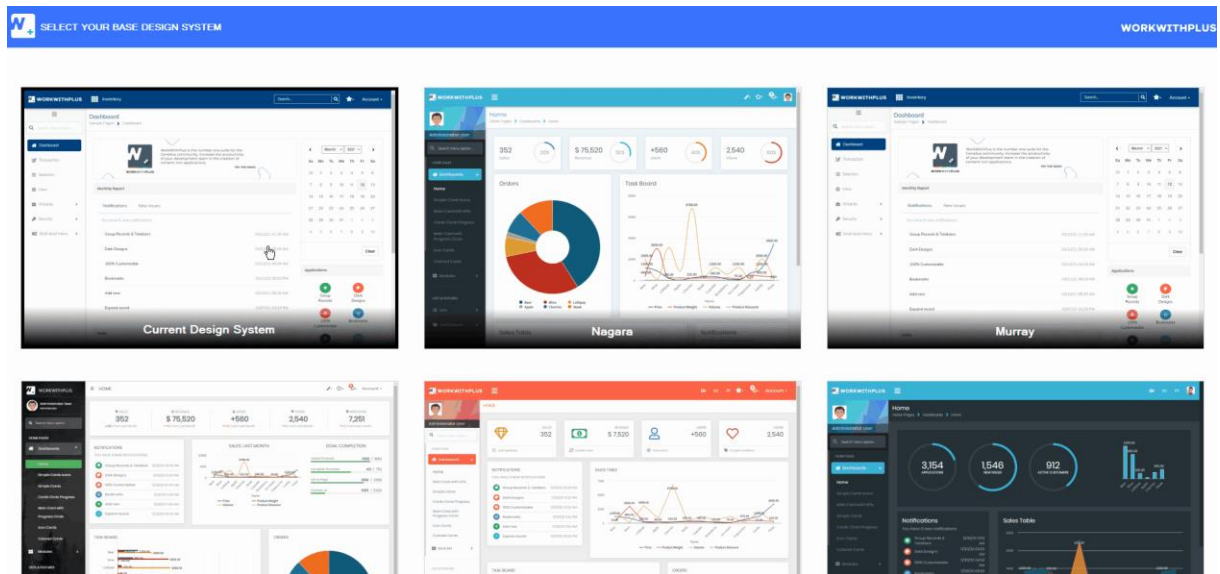
WorkWithPlus for Web 15 では、実行時にエンドユーザーが次のカスタマイズを変更できる
ようにすることができます：

- カラー
- フォントサイズ
- 背景のスタイル (ダークまたはライト)



この機能を利用できるようにするには、デザイン システム ウィザードを実行して有効にする
必要があります ([WorkWithPlus] > [for Web] > [デザイン システム ウィザード])。

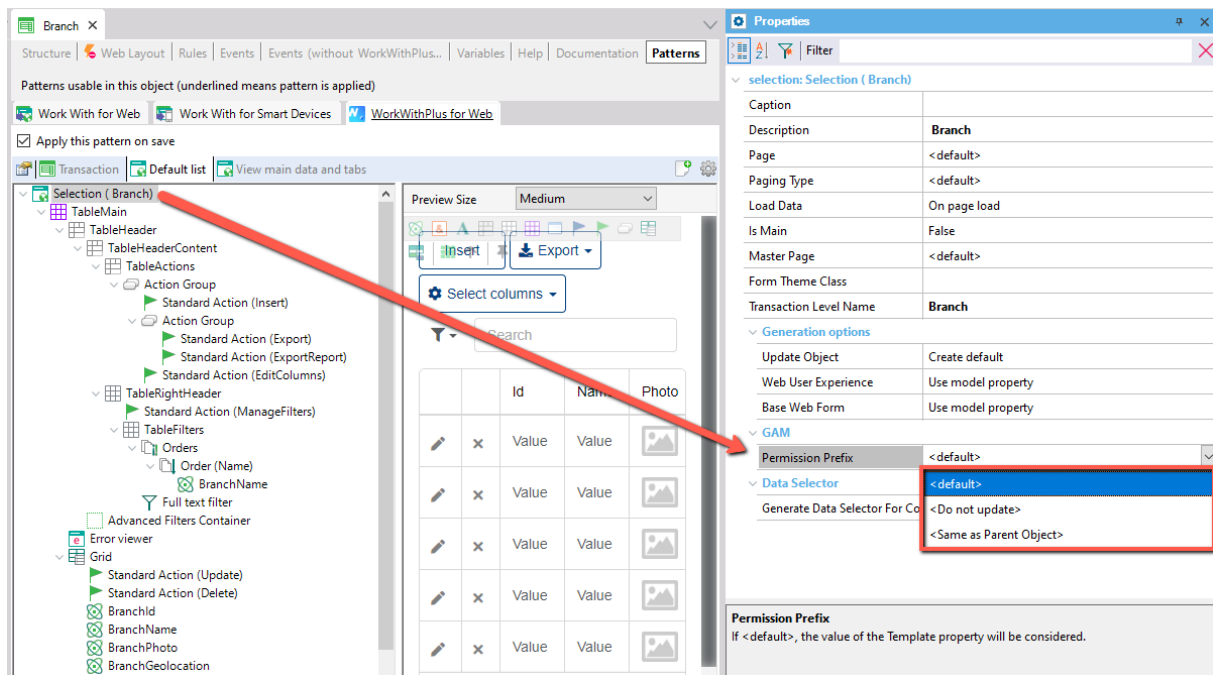
既にデザイン システム ウィザードを実行している場合は、[使用中のデザインシステム] を選択
します。次に、ステップ 2 で、[カラーの変更]、[背景のスタイルの変更]、および [フォント
サイズの変更] のオプションが表示されます。次に、ステップ 10 で [デザインシステムをイン
ポート] ボタンをクリックすると、[必要なオブジェクトのみをインポート] を選択できるウィン
ドウが表示され、新しい機能を実装するために必要なオブジェクトのみがインポートされます。



GAM アクセス許可の接頭語

WorkWithPlus for Web 15 では、トランザクションのインスタンス内のパネルにあるメインノードに、[Permission Prefix] プロパティがあります。このプロパティでは、アクセス許可を生成する時点で、これらの Web パネルに独自のアクセス許可の接頭語を持たせるか、親オブジェクトと同じ値を取るかどうかを決定できます。

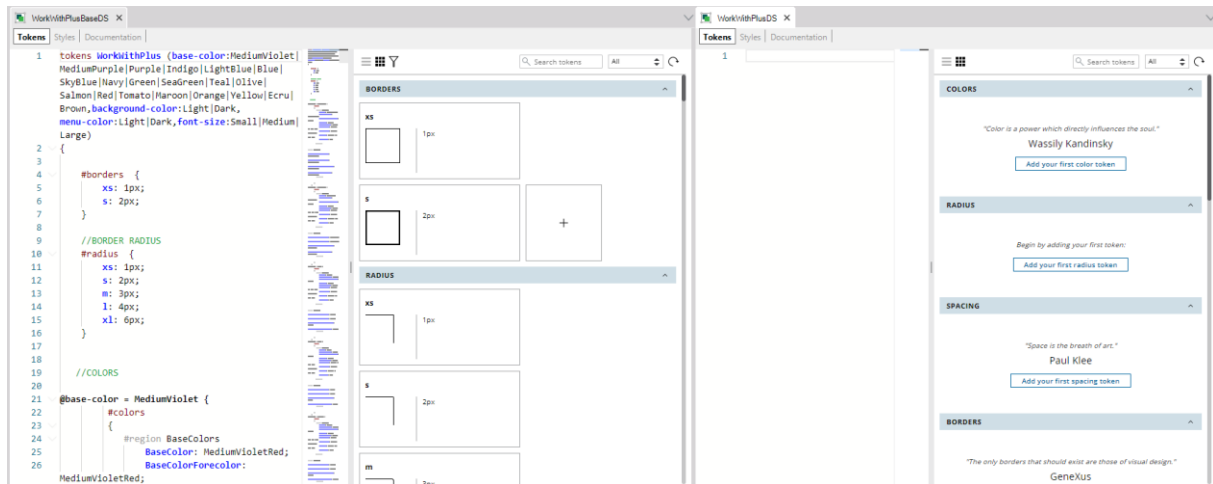
[<default>] の場合は、[WorkWithPlus] 設定 > [Web 設定] > [Transaction テンプレート (メイン)] 内のテンプレートで定義されている値を取ります。値が [<Same as Parent Object>] の場合は、トランザクションの接頭語のアクセス許可を取ります。このアクセス許可があると、Web パネルにアクセスするための別の特定のアクセス許可を割り当てることなく、この画面を使用できます。



Design System オブジェクト

WorkWithPlus for Web 15 では、すべてのデザインシステムが Design System オブジェクトに基づいています。

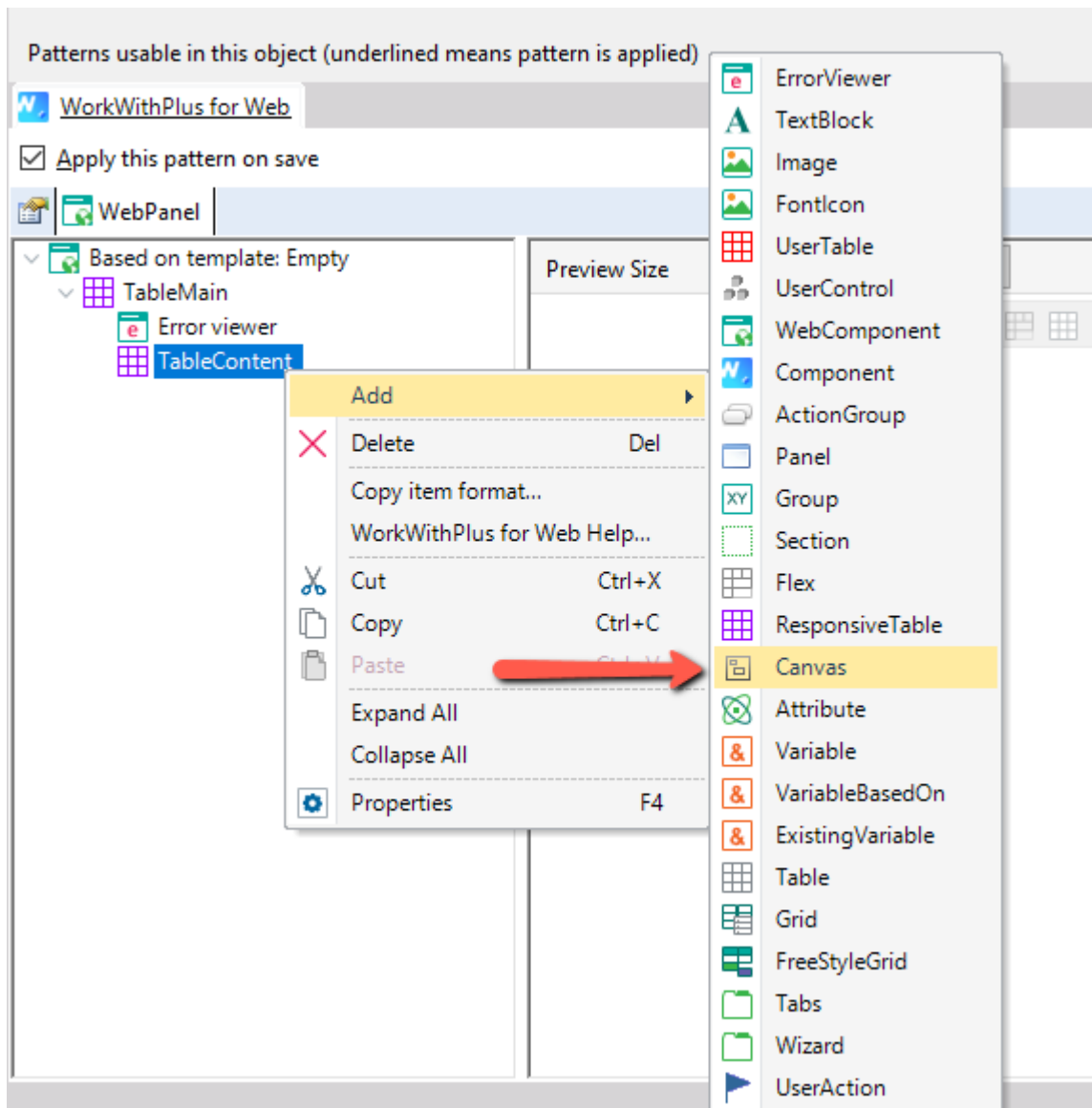
そのため、ナレッジベースに 2 つの Design System オブジェクトが作成されるようになります。一方のオブジェクトにはすべてのベースクラスと WorkWithPlus for Web のレイアウトが含まれており、もう一方にはカスタマイズを追加できるため、バージョンを移行するときに、WorkWithPlusDS オブジェクトに含まれているカスタマイズ内容が失われずに、ベースクラスが最新の状態に保たれます。





キャンバス

WorkWithPlus for Web 15 では、インスタンスからキャンバスを追加して使用できます。キャンバスにより、このタイプのテーブル内にある画像やその他のエレメントをオーバーレイすることができます。





Extended Suggest

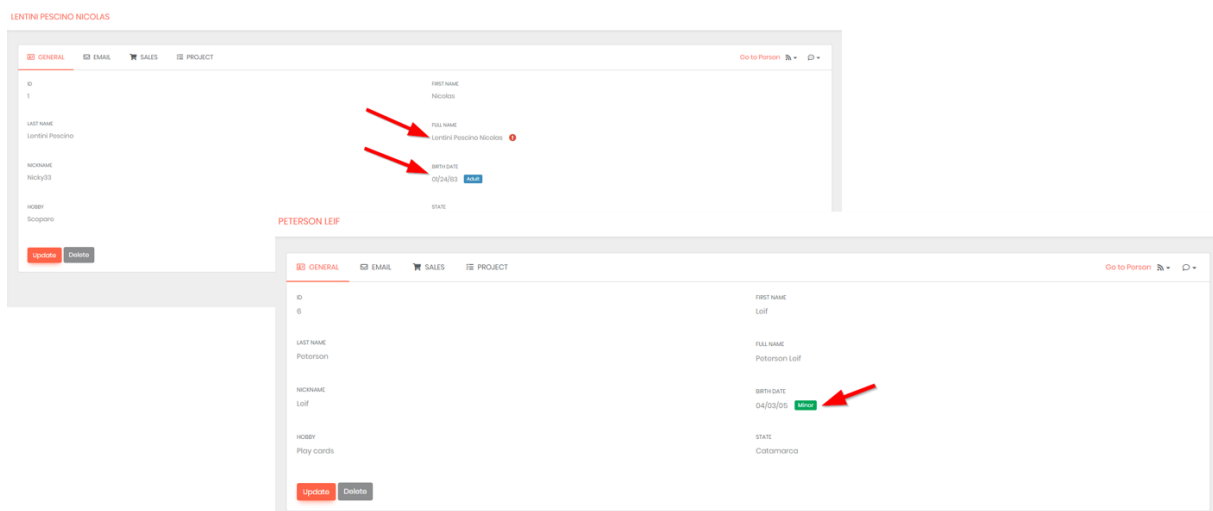
WorkWithPlus for Web 15 では、Extended Suggest というコントロールタイプが追加されています。

Extended Suggest コントロールは、候補の提示が有効化されている編集フィールドに似ていますが、Extended Combo のカスタマイズ能力を備えているため、候補フィールドに異なるスタイルを追加して、動的にロードすることができます。



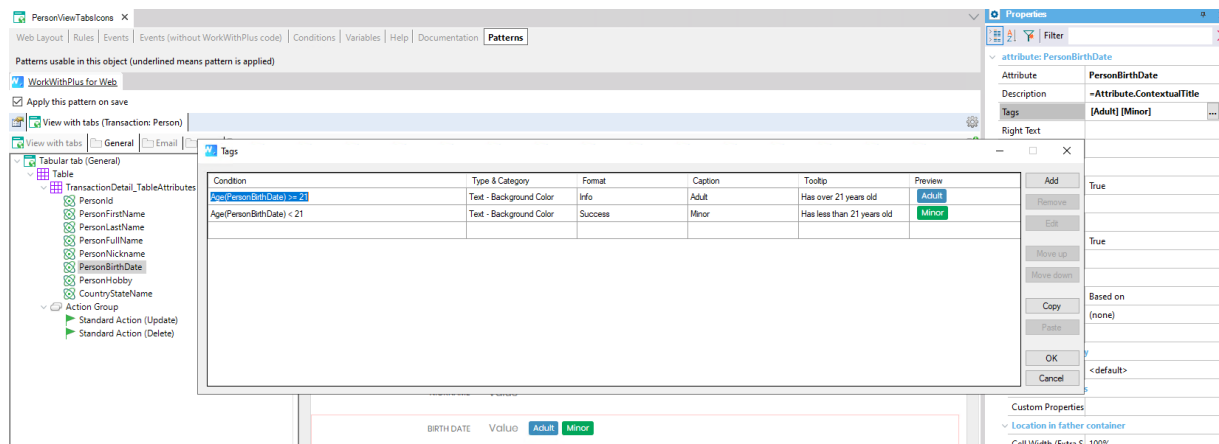
プレーン項目属性および変数のタグ

WorkWithPlus for Web 15 では、プレーン項目属性および変数でタイプアイコンまたはテキストのタグを作成できるようになりました。



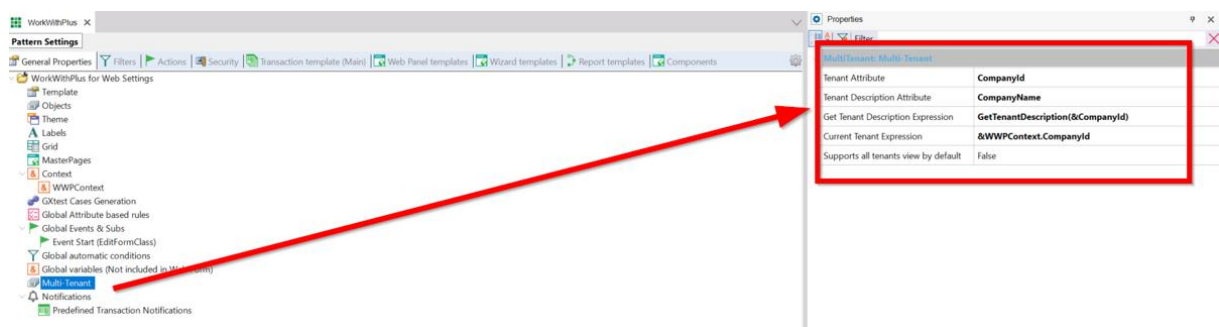


WorkWithPlus for Web でグリッド項目属性または変数内のタグに提供されているものと同じように、項目属性または変数のノード内に [Tags] という名前の新しいプロパティがあり、条件とタグに適用する形式を設定できます。



マルチテナントアプリケーションの管理者ビュー

すべてのテナントからのレコードを視覚化する管理者を利用できるようになりました。このために、[WorkWithPlus] 設定 > [Web 設定] > [Multi-Tenant] に次のプロパティが追加されました。



- **Tenant Description Attribute:** 管理者がレコードのテナントを認識するために、管理者ビューがサポートされているオブジェクトで表示される項目属性です。
- **Get Tenant Description Expression:** トランザクション内に [Tenant Description Attribute] がいない場合に、[Tenant Attribute] に基づく変数を使用して [Tenant Description Attribute] の値を取得するための式です。

例: GetTenantDescription(&TenantId)



- **Supports all tenants view by default:** インスタンス内のこのプロパティの既定値です ([Transaction]、[List]、および [View] ノードに、設定するためのこのプロパティがあります)。

トランザクションの [Support all tenants view] が [True] の場合、WorkWithPlus for Web では [Tenant Description] の値が (管理者用) フォームに表示され、ほかのエンドユーザーには非表示になります。リストオブジェクトとビューについても同様です。リストの場合は、列にタイトルのフィルタがあり、エンドユーザーはテナントでフィルタリングできます。

The image shows two screenshots of the WorkWithPlus for Web interface. The top screenshot displays the configuration page for the 'Supports all tenants view' property, which is set to 'True'. The bottom screenshot shows the user interface with a table of products, where the 'name' column is highlighted with a red box, indicating that the tenant name is visible to the user.

PERMISSIONS OF ROLE: ADMINISTRATOR

PERMISSION NAME	DESCRIPTION	ACCESS TYPE	INHERITED
Multitenant_View_All_Tenants	View all tenants	Allow	<input type="checkbox"/>

Filtering by Application and Name

Page 1 of 1

PRODUCT

ID	NAME	PRODUCTO	PRECIO	VOLUMEN	PESO	IMAGEN
1	WorkWithPlus	Beer	1200	2000	400	
2	WorkWithPlus	Tannat Wine	880	100	3000	

Page 1 of 1

PRODUCT

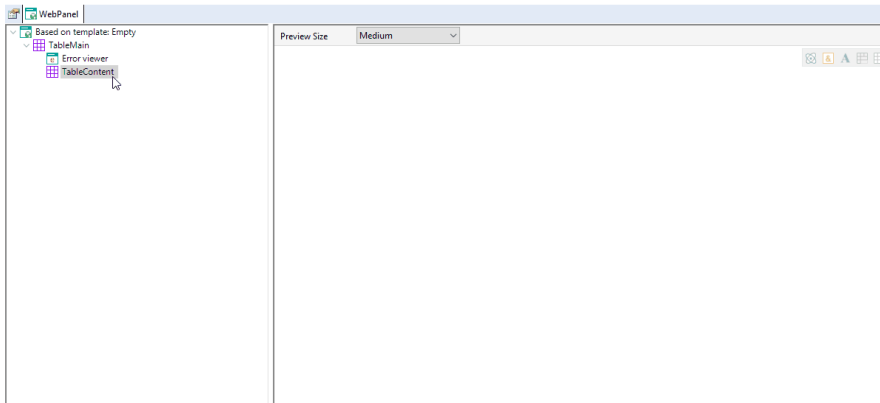
ID	NAME	PRODUCTO	PRECIO	VOLUMEN	PESO	IMAGEN
1	WorkWithPlus	Beer	1200	2000	400	
2	WorkWithPlus	Tannat Wine	880	100	3000	
3	Gonchus	Green Apple	500	600	200	
4	Gonchus	Lollipop	200	3000	400	
5	Coca Cola	Delicious cherries	900	500	700	
6	Coca Cola	Steak	1100	600	1000	

Page 1 of 1



アイコン フォント セレクター

画面にアイコンフォントを追加する方法が改善されました。以前のようにクラスを記述する (例: fas fa-user) 代わりに、テーブルを右クリックして [追加] > [FontIcon] を選択するだけで済むようになりました。この操作により、検索ボックスのあるウィンドウが開くので、名前を入力してアイコンを検索して選択すれば、自動的に画面に追加されます。



Extended Combo の無限スクロール

このバージョンから、Extended Combo で「無限スクロール」がサポートされるようになります。これにより、コントロールで必要に応じて (エンドユーザーがコンボをスクロールしたときに) より多くのデータがフェッチされます。

全文検索フィルタのカスタマイズ

WorkWithPlus for Web 15 では、全文検索フィルタのカスタマイズが追加されました。

[Condition Casing]

これは、条件の大文字と小文字を設定するオプションです。有効な値は次のとおりです:

- <default>: 特定のフィルタタイプの条件の大文字と小文字が考慮されます
- None
- ToLower



[WorkWithPlus] 設定 > [Web 設定] > [Filters] ノードには、すべての全文検索フィルタの既定値を定義する、[Full text Condition Casing] という名前のプロパティがあります。また、各全文検索フィルタには [Condition Casing] という名前のプロパティがあります。

[Default operator]

全文検索フィルタに含まれるテキストフィルタを、「次で始まる」または「次を含む」のどちらかで検索するかを指定します。

[Full text filter] ノードには、次の値を持つ [Default operator] という名前のプロパティがあります：

- <default>: WorkWithPlus の [Settings] -> [Standard Filters] の特定のフィルタタイプのプロパティが考慮されます。
- Starts with
- Contains

[Condition]

全文検索フィルタ内の項目属性ごとに、その条件を指定できます。

Att. name	Att. description	Condition
PersonId	Person Id	<default>
PersonFirstName	First Name	<default>
PersonLastName	Last Name	<default>
PersonFullName	Full Name	<default>
PersonNickname	Nickname	<default>
PersonHobby	Person Hobby	<default>
PersonGender	Person Gender	<default>
CompanyId	Id	<default>
CompanyName	Name	<default>
PersonCellNumber	Person Cell Number	<default>
PersonHomeTelNumber	Person Home Number	<default>
PersonHomeAddress	Person Home Address	<default>

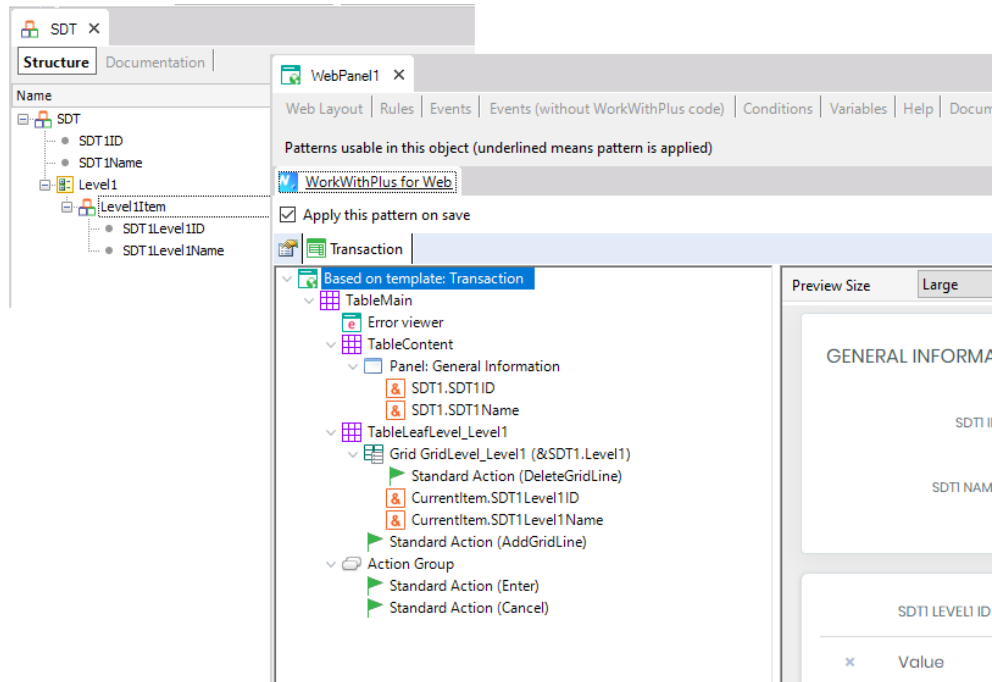
Attributes	Default attributes
Condition Casing	<default>
Default operator	<default>

これにより、必要に応じて特定の条件でカスタマイズすることができます。



SDT の複数のレベルのサポート

このバージョンから、WorkWithPlus for Web では、複数のネストされたレベルを持つ SDT に基づく Web パネルの追加がサポートされます。これは以前のバージョンでも行うことができたのですが、コレクションがあるグリッドは追加されませんでした。

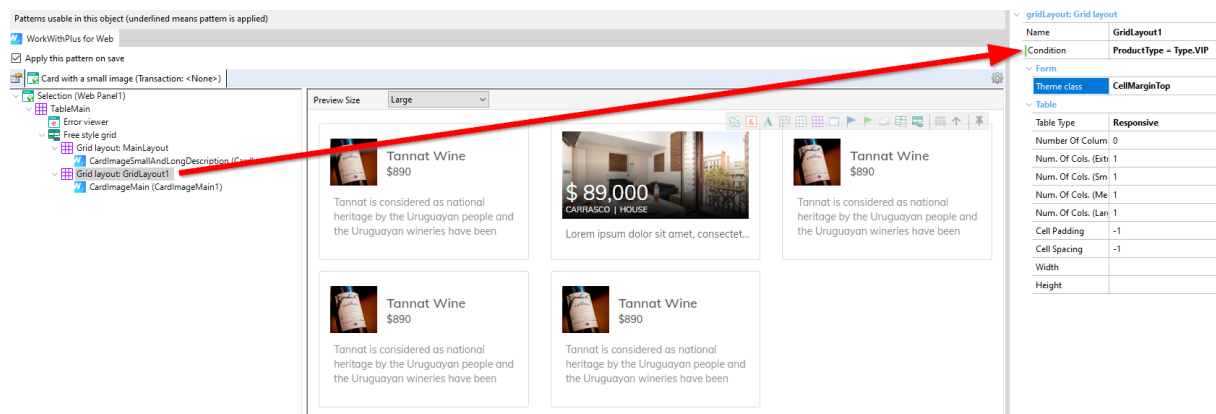




FreeStyleGrid の改善

FreeStyleGrid の複数のレイアウト

WorkWithPlus for Web 15 では、複数のレイアウトを使用して FreeStyleGrid を作成し、各レイアウトの表示条件を設定することができます。

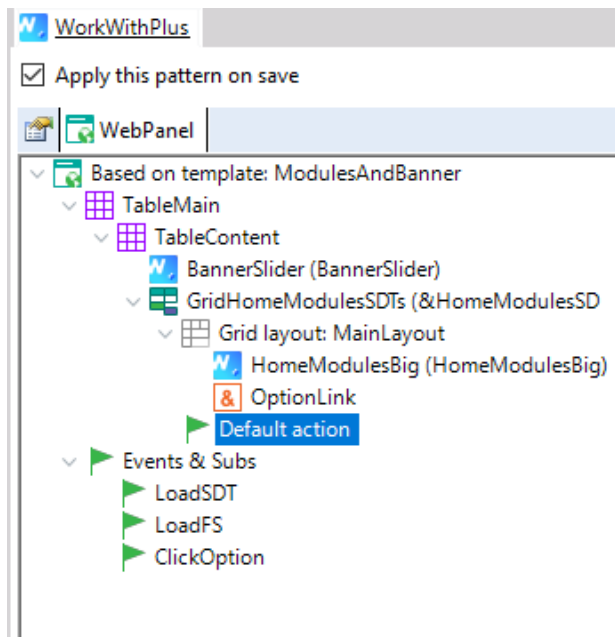


条件を満たしたレイアウトが WorkWithPlus により自動的に表示され、他のレイアウトは非表示になります。

FreeStyleGrid の既定のアクション

WorkWithPlus for Web 15 では、グリッドのアイテムをクリックしたときに呼び出されるアクションを定義することができます。

アクションを指定するには、[Free Style Grid] ノードを右クリックして、[追加] > [Default action] を選択する必要があります。このアクションにはほかのアクション (確認、ポップアップ など) と同じ機能があるため、GX オブジェクトを設定したり、イベントで直接ユーザーコードを定義したりすることができます。



Chromium のレビュー

以前のリリースでは、インスタンス内のレビュー画面は Internet Explorer エンジンを使用してレンダリングされていました。

WorkWithPlus for Web 15 からは、Chromium レンダリングエンジンを使用してレビューが表示されるようになるため、ブラウザで表示したときのレビューがより正確になります。

